

北興化学工業株式会社

2023年11月期 第1四半期
決算補足説明資料

2023年4月10日

東証スタンダード 証券コード4992

決算補足説明資料目次

I .2023年11月期 第1四半期決算 ハイライト	2
II .【参考資料】 2023年11月期 第1四半期決算 データ編	9

I 2023年11月期 第1四半期決算 ハイライト

< 1. 連結業績 >

(単位：百万円)

▶ 前年同期比増収・増益決算

- ◆売上高は、14,197百万円、前年同期比820百万円(6.1%)の増収となりました。
- ◆利益面では、営業利益は、2,327百万円、前年同期比464百万円(24.9%)の増加、経常利益は、2,415百万円、前年同期比420百万円(21.1%)の増加となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、1,692百万円、前年同期比307百万円(22.2%)の増加となりました。

	2022年度 第1四半期	2023年度 第1四半期	前年同期比	増減率
売上高	13,377	14,197	+820	+6.1%
売上原価	9,839	10,212	+372	+3.8%
売上総利益 (売上高比)	3,538 (26.4%)	3,985 (28.1%)	+447 (+1.6P)	+12.6%
販売費及び一般管理費	1,674	1,658	▲16	▲1.0%
営業利益 (売上高比)	1,864 (13.9%)	2,327 (16.4%)	+464 (+2.5P)	+24.9%
営業外収支	131	87	▲43	▲33.2%
経常利益 (売上高比)	1,994 (14.9%)	2,415 (17.0%)	+420 (+2.1P)	+21.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (売上高比)	1,385 (10.4%)	1,692 (11.9%)	+307 (+1.6P)	+22.2%



< 1. 連結業績 ①概況 >

▶ 売上高

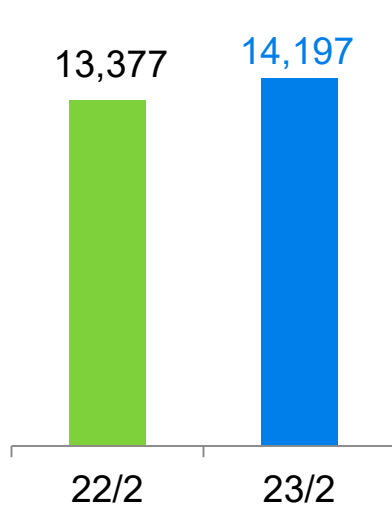
- ◆農薬事業は、国内販売における園芸剤の受注やアジア向けを中心とする海外販売が増加したものの、国内販売における水稻剤の引き取り時期の遅れ(主に予約受注分)等から**減収**
- ◆ファインケミカル事業は、樹脂分野を中心に販売が順調に推移したことから**増収**
- ◆繊維資材事業は、環境配慮型の再生ポリエステル素材の販売好調等により**増収**

▶ 営業利益・経常利益・当期純利益

売上の増加に加え、原価低減等もあり**増益**。原材料価格の上昇は販売価格の改定により吸収

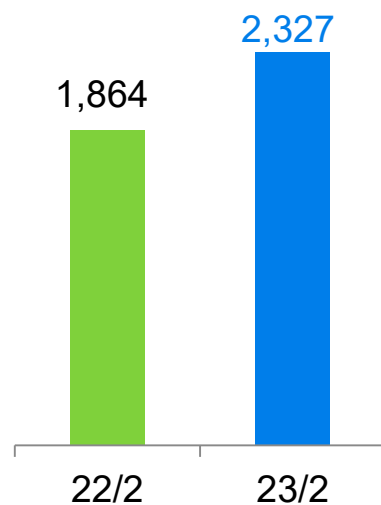
売上高

<前年同期比>
+820(+6.1%)



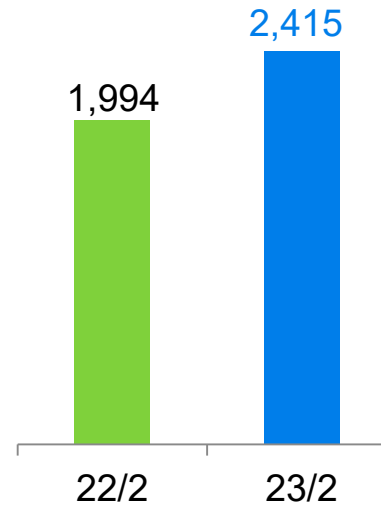
営業利益

<前年同期比>
+464(+24.9%)



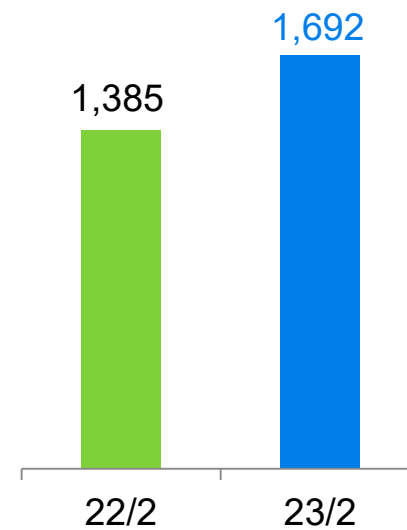
経常利益

<前年同期比>
+420(+21.1%)



当期純利益 (単位:百万円)

<前年同期比>
+307(22.2%)



< 1. 連結業績 ②増減要因 >

①農業事業 ▲88百万円

主な要因は、国内販売▲135百万円、海外輸出+51百万円(以上単体)

②ファインケミカル事業 +851百万円

主な要因は、樹脂分野+282百万円、その他分野+476百万円(以上単体)

③繊維資材事業 +57百万円

④その他 ▲1百万円

①農業事業 +75百万円

北海道新工場の稼働に伴う減価償却費の増加があったものの、原価低減等により増益

②ファインケミカル事業 +376百万円

売上の増加に加え、原価低減等もあり増益

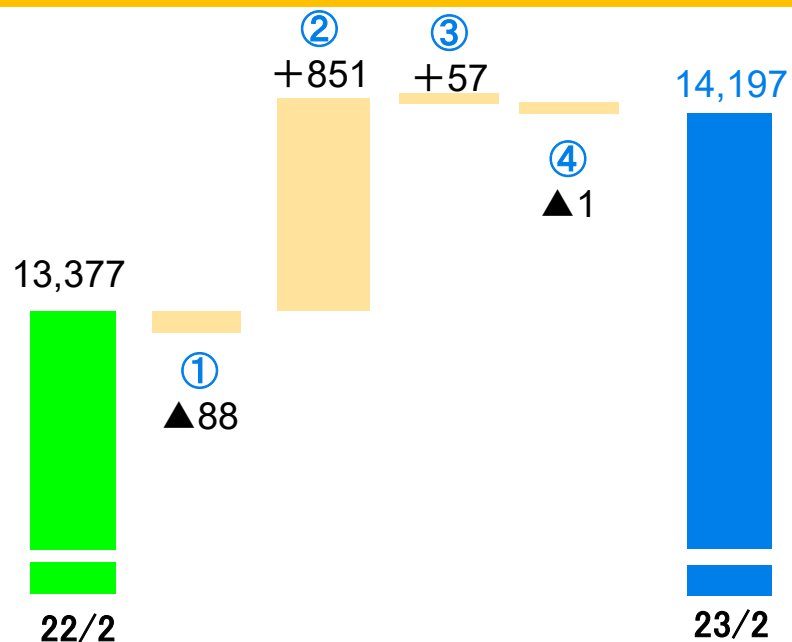
③繊維資材事業 +14百万円

売上高の増加により増益

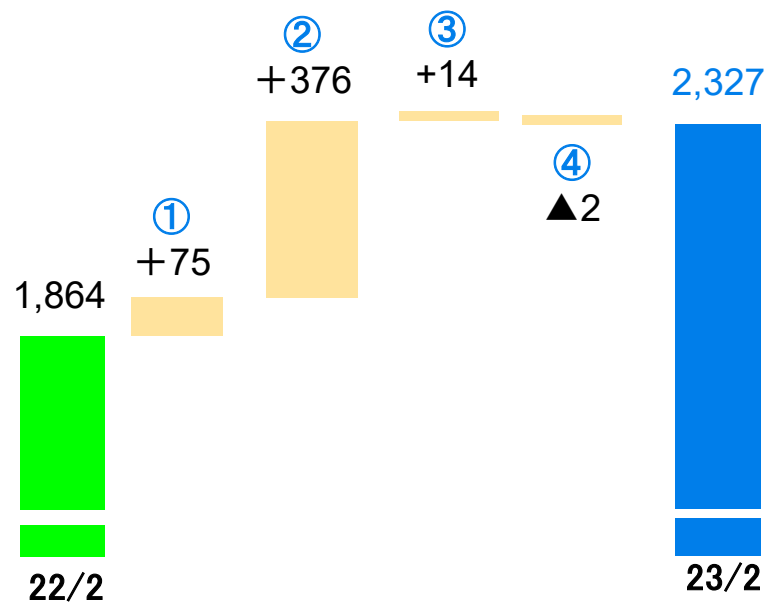
④その他 ▲2百万円

(単位:百万円)

売上高



営業利益



<3. 連結業績:セグメント別>

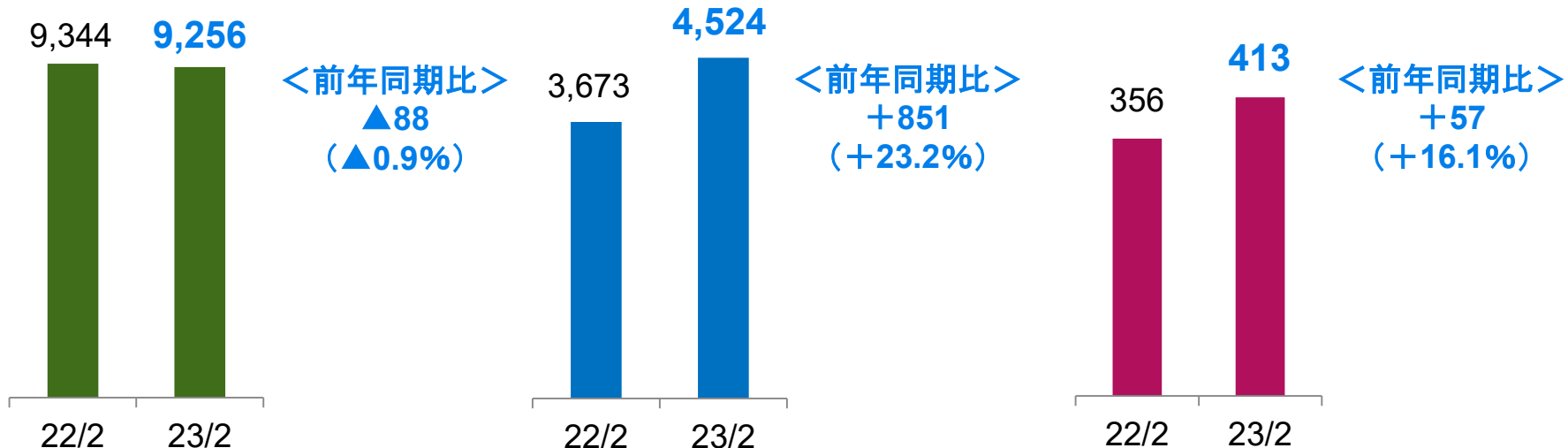
(単位:百万円)

【農薬事業】

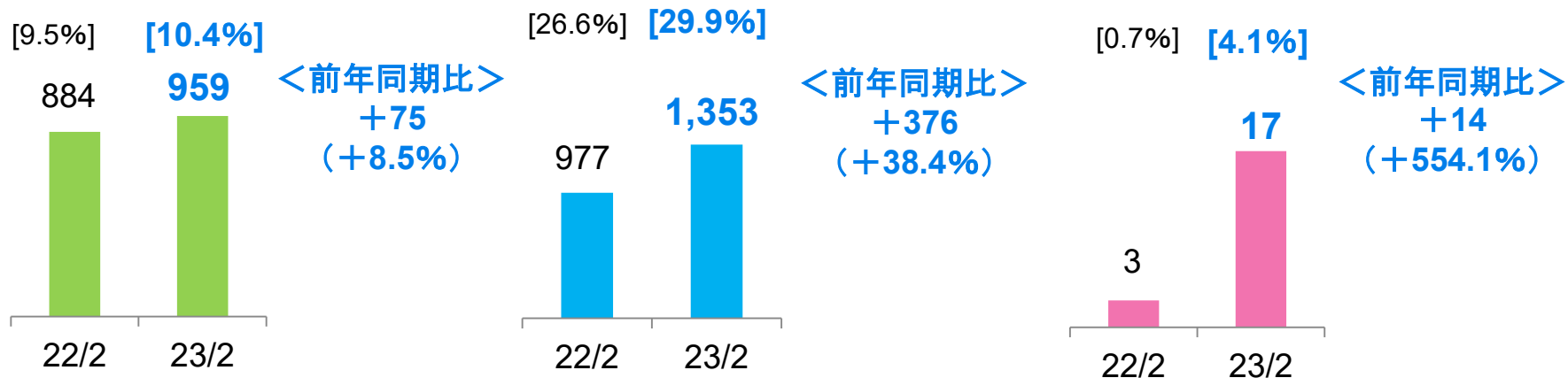
【ファインケミカル事業】

【繊維資材事業】

売上高



営業利益



※営業利益額上方のカッコ内の%表示は、営業利益率



<3. 連結業績:セグメント別 ①農薬事業トピックス>

国内販売

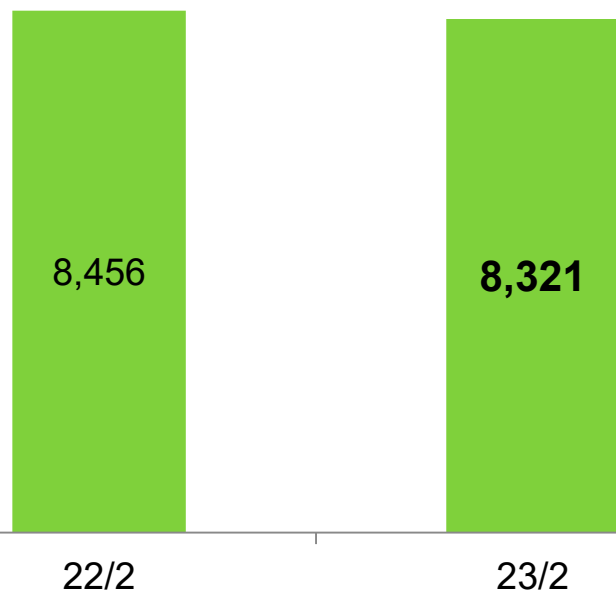
園芸剤の受注は増加したものの、水稻剤の引き取り時期の遅れ(主に予約受注分)等から**減収**

海外輸出

アジア(インド、中国等)向けの出荷増等により**増収**

国内販売(単体)

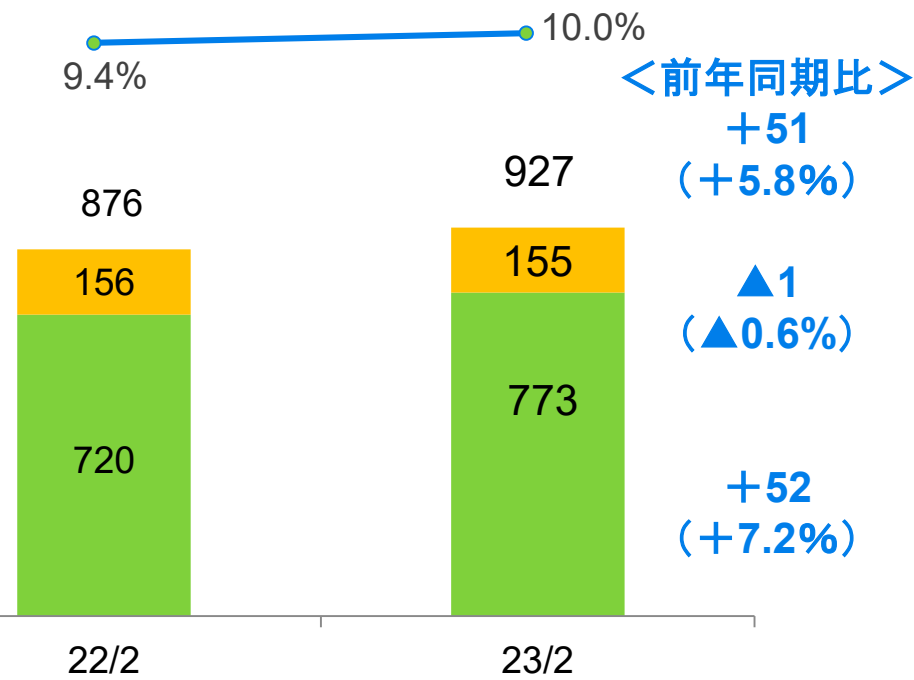
■ 国内販売



海外輸出(単体)

(単位:百万円)

● 輸出割合 ■ アジア ■ その他

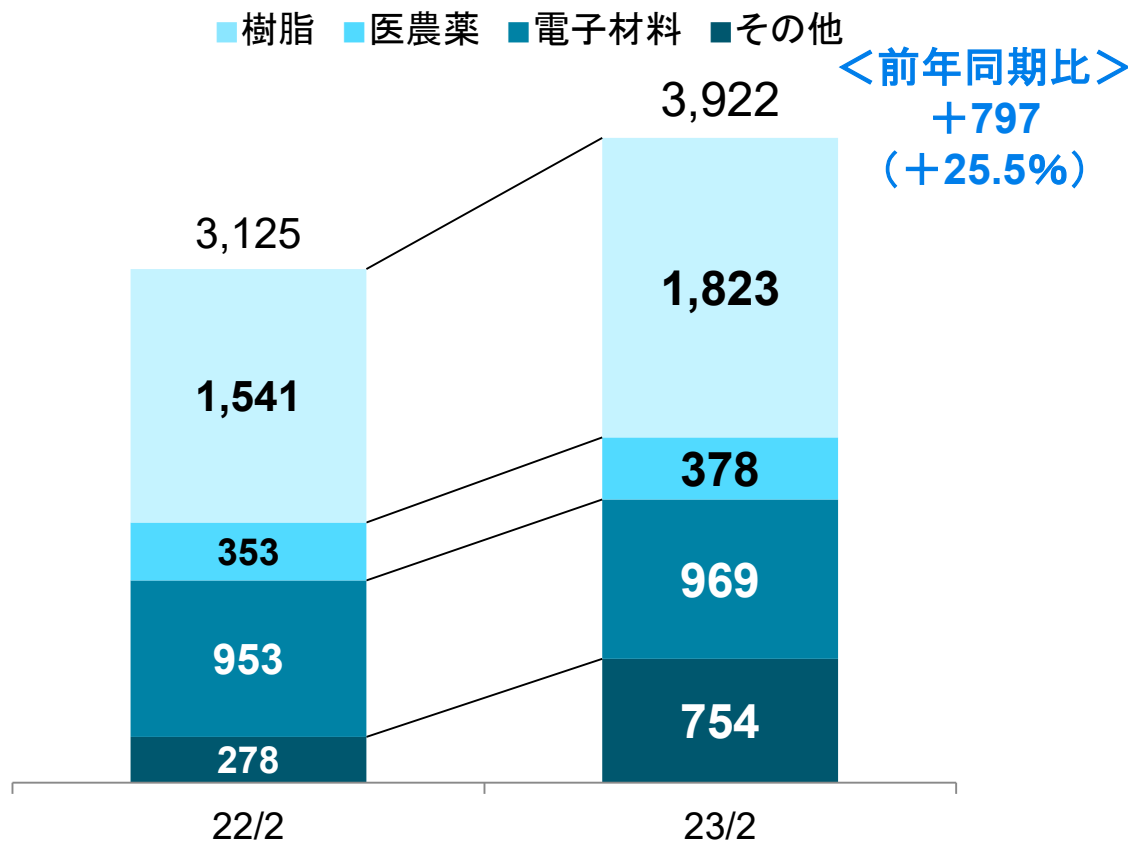


＜3. 連結業績:セグメント別 ②ファインケミカル事業トピックス＞

- 樹脂分野やフォトレジスト用原料の販売が好調に推移し**増収**
- 前期から適用した収益認識基準の影響により、その他分野が増収(前期は基準変更により▲235百万円)
- 固定費の抑制や中国子会社における原材料価格高騰のピークアウトにより原価率が低下したことも増益に寄与。営業利益率は前年同期比+3.3P(P12ご参照)。

分野別(単体)

(単位:百万円)



＜主な前年同期比増減内容＞

◆樹脂分野: +282百万円 (+18.3%)

- ・石化用触媒: ▲65
(主にTPP)
- ・その他樹脂原料: +339
(塗料、コーティング剤等)

◆医農薬分野: +25百万円 (+7.1%)

(原料および中間体)

- ・医薬: +78
- ・農薬: ▲53

◆電子材料分野: +15百万円 (+1.6%)

- ・半導体関係: ▲205
(半導体封止剤用の硬化促進剤: CPU、メモリー等)
- ・フォトレジスト用のモノマー原料: +209

◆その他: +475百万円 (+170.9%)

- ・食品飼料: +332
(TPP: ビタミンA、ベータカロチン用途等)
- ・防汚剤: +38
- ・エネルギー: +68

*分野別 … 総売上高を当社の判断により各分野に分類しております。

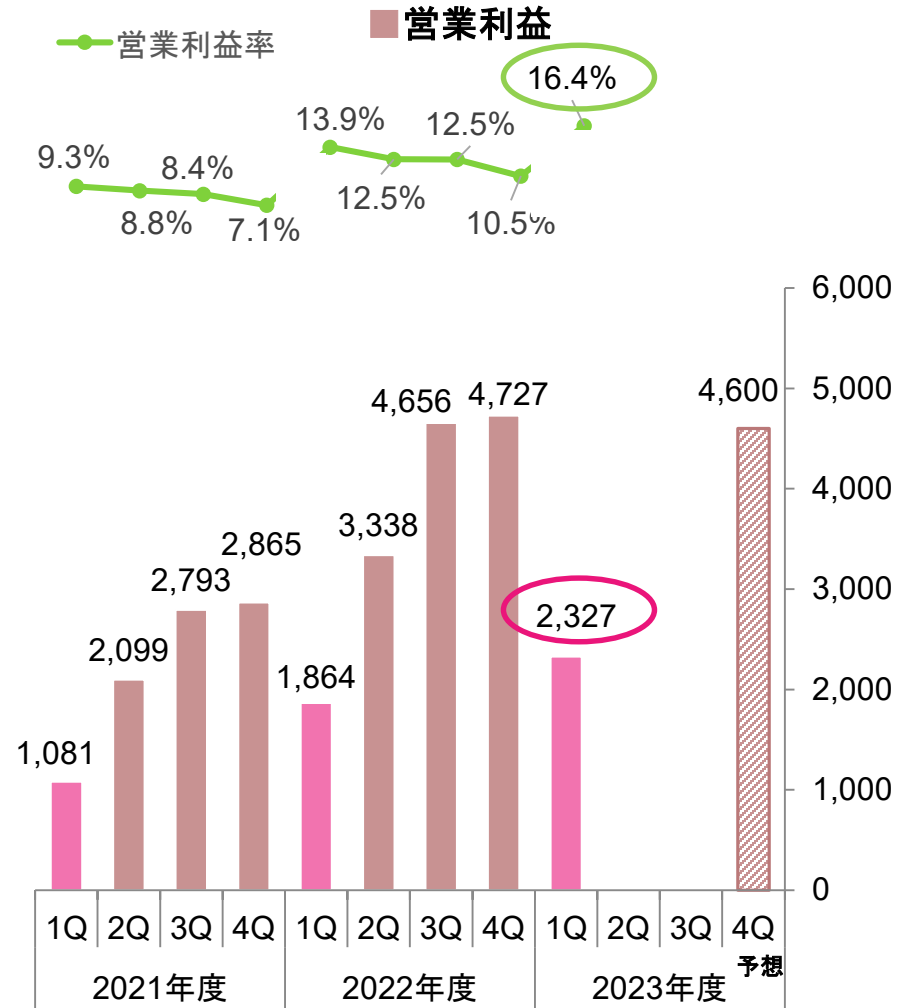
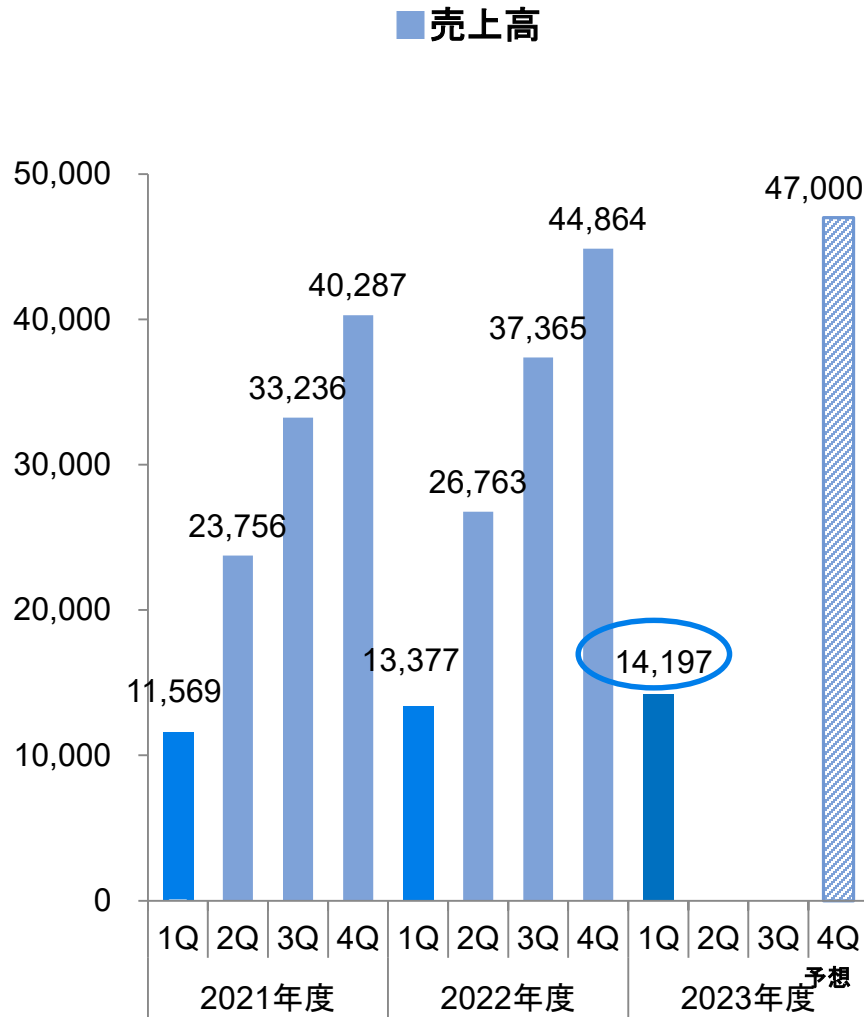


Ⅱ 【参考資料】

2023年11月期 第1四半期決算 データ編

＜①連結業績の進捗状況＞

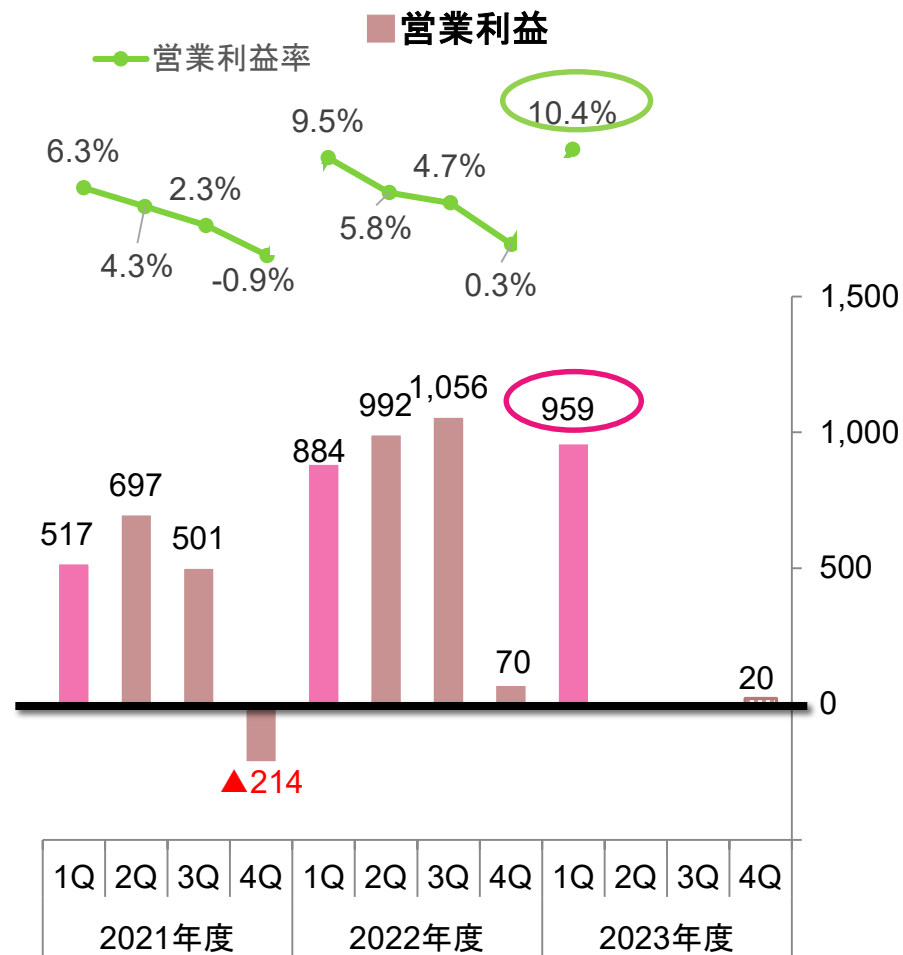
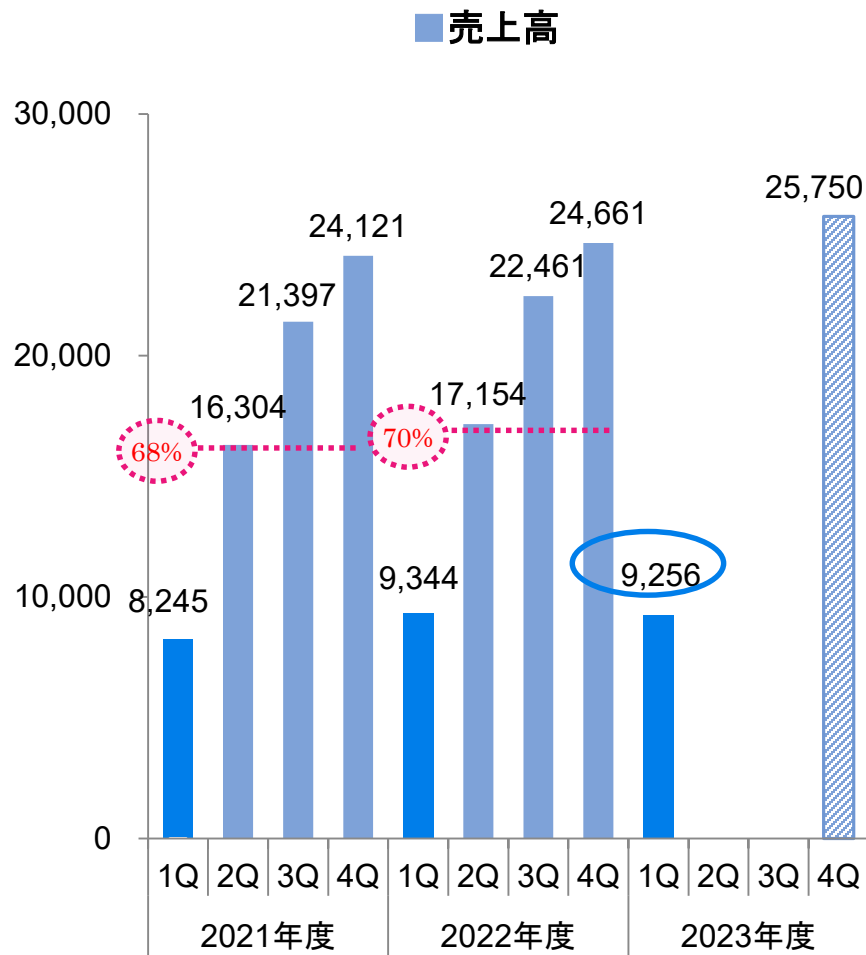
※金額は各四半期時点における累計値
(単位：百万円)



＜②連結セグメント別業績推移：農薬事業＞

※金額は各四半期時点における累計値
(単位：百万円)

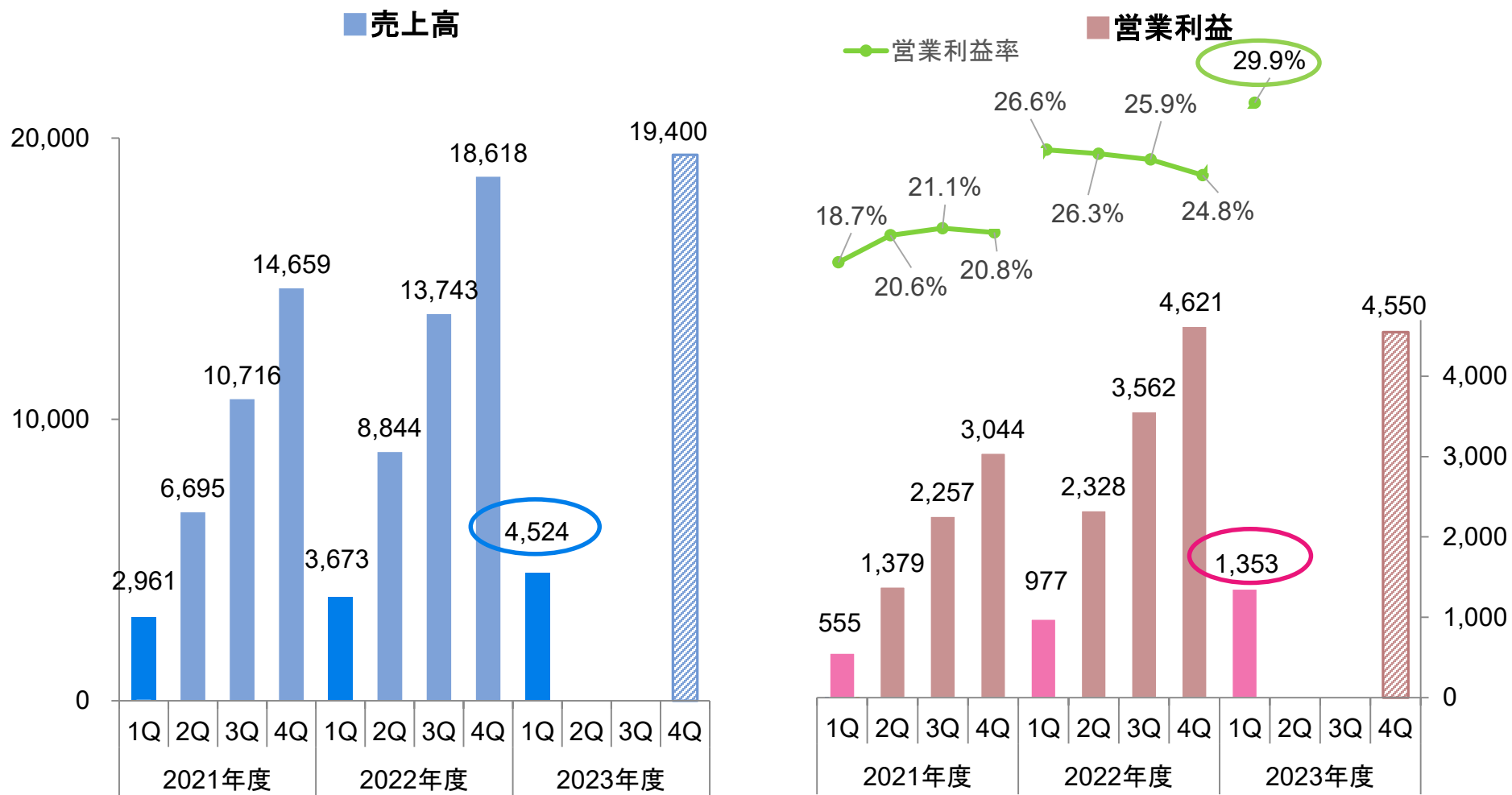
農薬の需要は季節性があるため、売上高・利益は上半期のウエイトが高くなる事業特性があります。



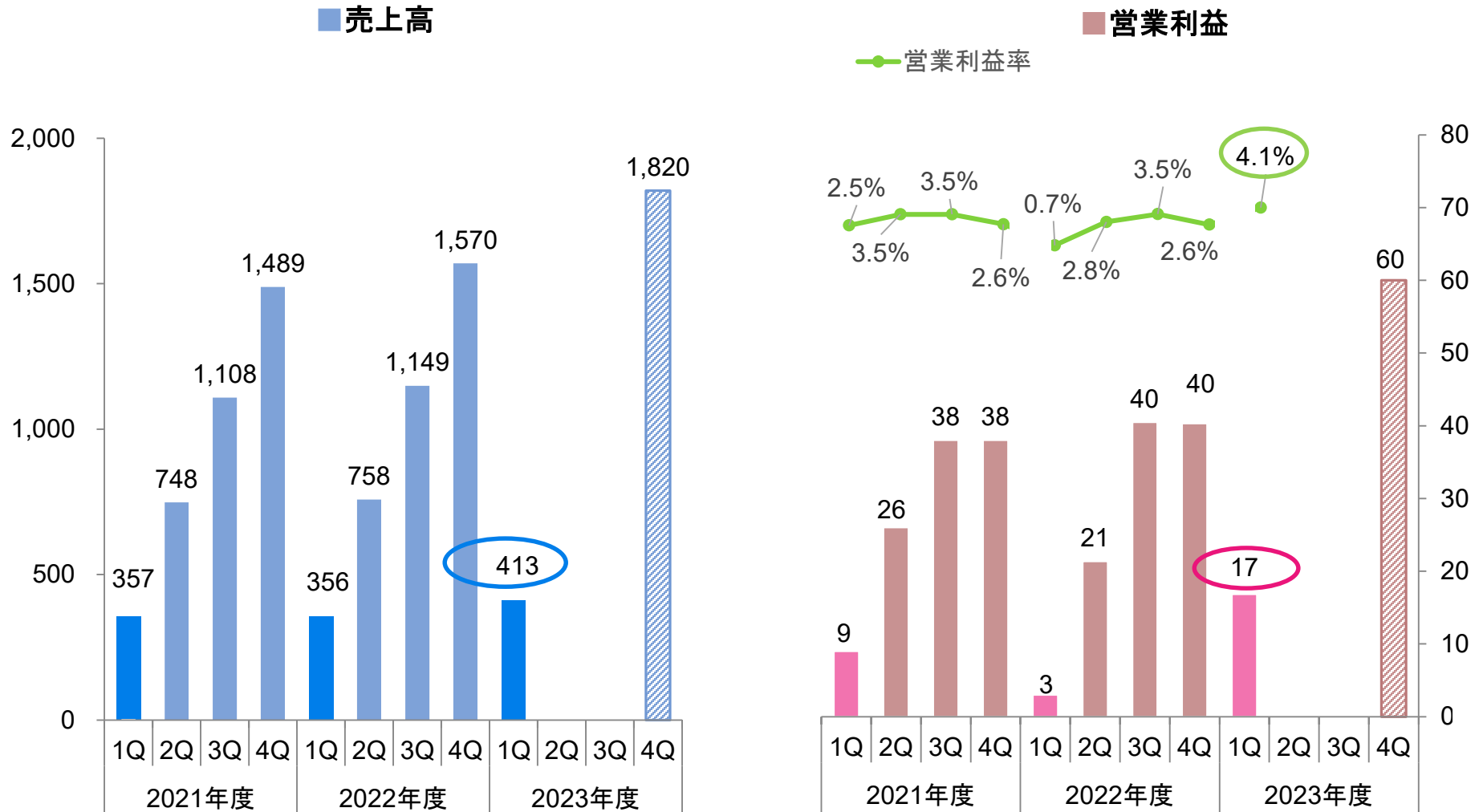
＜③連結セグメント別業績推移：ファインケミカル事業＞

※金額は各四半期時点における累計値

(単位：百万円)



＜④連結セグメント別業績推移：繊維資材事業＞ ※金額は各四半期時点における累計値
 (単位：百万円)



＜⑤連結業績予想対比の進捗状況＞

＜進捗状況＞

業績予想に対する第1四半期の進捗率は、売上高は前年同期並み、各利益段階は前年同期を上回る水準となった。

〔2023年度〕

＜参考：前年同期＞

(単位：百万円)

	2023年度 第1四半期	2023年度 業績予想	進捗率		2022年度 第1四半期	2022年度 業績予想 (修正後)	進捗率
売上高	14,197	47,000	30.2%	売上高	13,377	44,500	30.1%
営業利益 (売上高比)	2,327 (16.4%)	4,600 (9.8%)	50.6%	営業利益 (売上高比)	1,864 (13.9%)	4,500 (10.1%)	41.4%
経常利益 (売上高比)	2,415 (17.0%)	5,300 (11.3%)	45.6%	経常利益 (売上高比)	1,994 (14.9%)	5,600 (12.6%)	35.6%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益 (売上高比)	1,692 (11.9%)	3,800 (8.1%)	44.5%	親会社株主に 帰属する 四半期純利益 (売上高比)	1,385 (10.4%)	3,900 (8.8%)	35.5%



本資料に記載されている業績予想・将来の見通しに関する記述等に関しましては、現時点で得られた情報に基づいて判断・算定したものであり、実際の業績は、今後のマクロ経済動向および市場環境、並びに当社グループに関連する業界動向、またその他内部・外部要因等、さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

■ お問い合わせ先

北興化学工業株式会社

企画部 IR担当

電話：03-3279-5151

FAX：03-3279-5195